
魔法少女リリカルなのは～原作を壊す転生者～

グレイ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのは～原作を壊す転生者～

【Nコード】

N3061BA

【作者名】

グレイ

【あらすじ】

なのはの世界を書いてみたつかたので書いてみました。チート嫌いや、ハーレム嫌いは見ない方が良いでしょう。それでは、魔法少女リリカルなのは～原作を壊す転生者～始まります。

プロローグ（前書き）

初めての投稿なのでおおめにみてください。
それでは本編始まります。

プロローグ

<真っ白な空間>

・・・俺は今、変な状況の中にいる・・・

ん？何言ってるんだって？

だって、真っ白な空間にいて、目の前で土下座してるおっさんがいるんだぜ！

おっさん「本当にすまなかった！！！」

しかも、いきなり謝ってるし・・・

主人公「とりあえず謝ってないで状況を説明しろ・・・」

（説明中）

主人公「なるほど・・・つまり、アンタの間違いで俺は死んだのか？」

と神様（自称）が、俺が死んだのはコイツの間違いのせいなのか・・・

・・・何かムカついてきた・・・

神様「悪かったと思ってる・・・だが！？私は謝らない！！！」

さっき思いつきり土下座して謝ってただろ・・・

神様「まあ、冗談はここまでにして、喜べ、おぬしを転生させるぞ！！！」

・・・は？

主人公「何言ってるんだジジイ！！俺はヤダぞ！！さっさと天国か地獄送れ！！！」

どうせアニメの世界とかに転生させられんだろ！アニメの世界って何かと面倒設定だから・・・

神様「頼む！！これがばれたらわしが罰せられてしまう！！！」

むしろ罰せられる・・・

神様「頼む！！！何か願いを叶えてやるから！！！」

まあ〜聞くだけ聞いてみるか・・・

主人公「転生するかはどうかは置いといて転生先は何処だ？」

ここ一番重要だからな。

神様「《魔法少女リリカルなのは》じゃ。」

なのはか〜まあ〜話は面白かったしいいか・・・

主人公「分かった。転生してやるよ。」

神様「本当か！？」

主人公「ああ。んで、能力いいか？」

神様「ああ！遠慮うせずに言ってくれ！」

じゃ〜遠慮うせずに・・・

主人公「まず、俺をリボーンのツナの容姿にしてくれ。んで、戦う時は常に超死ぬ気モード、

魔力はEランク、身体能力、学習能力、精神力、気もE
Xランクで、

レアスキルに超直感、魔力吸収、調和、武器はXグローブ
で、デバイスの形はボンゴレリングで。」

神様「なんじゃ、それだけか？」

主人公「ああ、それだけ。」

神様「欲がないの〜（内緒で能力付けとくか）」

主人公「十分チートだと思うが・・・」

超直感や魔力吸収なんか最強だろ。

神様「あ、ちなみに前の名前使えないから名前を変えてくれ。」

名前？何にするか・・・よし、これにするか。

津波「楯宮津波（たてみやつなみ）で頼む。」

神様「分かったのじゃ、頑張つての。」

こっしてなのはの世界に一人の男が行った。

プロローグ（後書き）

この小説みてくださってありがとうございます。
なるべく早く投稿できるように頑張ります。

主人公設定一（ネタばれアリ）

主人公設定

名前 楯宮津波（たてみやつなみ）

年齢なのは達と同じ年

身長 無印 126cm A's 142cm
75cm Vivid、Force 186cm
Strikers 1

生年月日 10月14日

性格 本来ならめんどくさがりな性格だが、神様によって真面目で優しい性格に変えられた。

戦闘時は冷静で無口、でも、敵だろうと情けをかける。

好きなもの 家族、仲間、友達。

嫌いなもの 友達や仲間を侮辱する人。

趣味 家事全般、アクセサリー作り。

容姿 リボーンのツナ。

魔力光 オレンジ

術式 ミッド、ベルカの完全混合ハイブリット

レアスキル 超直感、魔力吸収、調和、Vividからは重力

操作も出来るようになる。

ボンゴレの記憶―（神様が勝手に付けた能力。津波がピンチや困った時にボンゴレI世

が、助けにきてくれる。本人はa・sが終わるまで知らない）

魔力資質 EX

魔力変換資質 火―（死ぬ気の炎）氷（ファースト零地点突破初代―エデイション

デバイス

名前 イクス

性格 律儀 津波のことをボスと呼ぶ。

形状 無印 大空のボンゴレリング a・Sの終盤 NEWボンゴレリング

Strikersの終盤 ボンゴレギア―（大空のリングver、x）

vividの中盤 ボンゴレギア―（シモンリング合体版）

津波「おい!!!何で性格変えるんだよ!!!」

神様「そりゃーツナは仲間想いの奴だからのおく、めんどくさい性格は似合わない」と

思っただからじゃ!」

津波「ふざけるな!!!」

神様「しょうがないじゃろく作者がそっちの方が書きやすいと

言ってたからの」

作者「はい！！！！バリバリ書きやすいです（^^）」

津波「はあくしょうがねいかく作者初めての小説だからな、お
おめにみてやるか・・・」

作者「ありがとうございます（^^）」

なのは世界に転生

<海鳴市>

津波「んっ・・・着いたのかな？」

さっきまでいた真っ白な空間じゃ無いから多分なのは世界に
来たんだろ。

???「お疲れ様です、ボス。」

んっ？この声は・・・多分デバイスだろうな。

津波「君が俺のデバイス？」

イクス「はい、ボスのデバイス、イクスです。」

結構律儀デバイスなんだな

津波「よろしくね、イクス。」

イクス「はい、よろしくお願い致します。」

津波「それでさイクス、ここ海鳴市だよね？」

イクス「はい、そうです。」

津波「そっか？ここなのはの世界なんだ？」

まさか本当になのは世界に行けるとは思わなかったから
な

津波「さて、これからどうしようか・・・んっ？そうえば・・・
家ってどうするんだー！ー

津波「イクス！！家ってどうするの！！！」

イクス「落ち着いてくださいボス、家とお金は神様が用意してくだ
さいました。」

マジで・・・良かった

津波「じゃー家まで案内してくれない？」

イクス「かしこまりました。」

津波「ところでお金ってどの位あるの？」

イクス「豪邸を世界中に買っても一生遊んで暮らせる位です。」

津波「……(啞然)」

そつ、そんなにあるの(汗)……

「なんだかんだで家に到着」

津波「……ねえイクス……」

イクス「はい、何でしょう?」

津波「ここが俺の家?」

イクス「はい、ここがボスの家です。」

んっ? 何で家に着いたのにわざわざ聞いているかって?

だって……

津波「何で……何で……こんなにでかいんだー!!!」

ハッキリ言つて一人で暮らすにはでかすぎる!!!!

津波「はあ〜とりあえず疲れたから家にはいる……」

<家(津波の部屋)>

津波「やっぱり部屋も広い……」

ここ一人で暮らすにはでかすぎて逆に怖い……

津波「そうだイクス。」

イクス「何でしょうか、ボス?」

津波「バリアジャケットとか見たいから結界張つてくれない?」

イクス「かしこまりましたボス。」

津波「ありがとう。」

早くどうなってるか見てみたいんだよね

イクス「ボス、結界張り終わりました。」

津波「ありがとうイクス。」

バリアジャケットどうなってんだろうな

津波「じゃあ〜早速、イクス、セットアップ。」

そして津波は、額から炎が出て、リボーンのメローネ基地

に潜入した時の、

ツナの格好になった。

津波「これが・・・俺の姿か・・・」

津波は超死ぬ気モードになって変わった所は、

額に炎、瞳は茶色からオレンジに変わり、両手には炎を宿したグローブ、

耳にはヘッドフォンがついていた。

津波「イクス・・・X BURNERは撃てるか？」

イクス「はい、オペレーションイクスと言っただけであれば何時でも撃てます。」

X BURNERを最初っから使えるのはいろいろ便利だな。

津波「ふう〜さて、いろいろ見たから今日はもう寝よう・・・」

イクス「分かりました、お疲れ様したボス、おやすみなさい。」

津波「うん、お休みね〜」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3061ba/>

魔法少女リリカルなのは～原作を壊す転生者～

2012年1月9日22時51分発行